

国際シンポジウム

CDM植林により熱帯林の生物 多様性はどう変わるか



2009年2月24日 10:30～16:00

森林総合研究所 2F 大会議室

第一部 (10:30～12:05)

ランドスケープと植物の多様性

1. 衛星画像を用いた生物多様性評価のための土地利用マップの作成
高橋正義・Prasetyo LB
2. アカシアマンガウム人工林による森林植物回復の可能性
五十嵐哲也・Simbolon H & Ruskandi A
3. 東カリマンタンの地上バイオマス量とその変動について
Simbolon H, 五十嵐哲也, Ruskandi A & Dirman

第二部 (13:15～14:00)

鳥獣の多様性

4. 東カリマンタンの異なる森林タイプにおけるほ乳類の種構成
安田雅俊・岡輝樹 Boer C
5. インドネシアの鳥類保全の現状
Prawiradilaga DM
6. 東カリマンタンの様々な環境における鳥類多様性の評価
川上和人, Prawiradilaga DM, Irham M & 川路則友

第三部 (14:20～16:00)

昆虫の多様性

7. 東カリマンタンでの生物指標としてのカミキリムシ
Noerdjito WA, 榎原寛・Suharto
8. 東カリマンタンにおける様々な人為影響下でのチョウ類の多様性
松本和馬・Noerdjito WA
9. ボルネオ低地の異なる植生における糞虫類の比較
上田明良・Dwibadra D
10. 山火事後の植林など森林景観の変動が寄生性ハチ類に与える影響
前藤薫

参加無料

問い合わせ：029-829-8212 (福山)

cdmtayousei@ffpri.affrc.go.jp

主催：(独)森林総合研究所

Photo by T Fujiwara

